

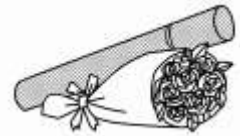


希望を持つこと

安藤 環

3月に入り、今年度も残すところあとわずかとなりました。1ヵ月もすると、また新しい生活がスタートします。新しい生活が始まる時、私たち大人でさえ「どんな人とめぐり合うのだろう」「どんな新しい経験をすることができるのだろう」「今年こそ？は良いことがありますように」と少なからず希望や期待をもつことと思います。ですから、これからの人生に大きな可能性を秘めている子供たちには大きな期待や希望を持って、新しい生活を迎えてほしいと思います。

しかし、この聞きなれた「希望をもつ」という言葉ですが、意外と難しいことだと私は思っています。例えば、幸せな毎日について考えてみても、心が希望で満たされていると、毎日をはつらつと過ごすことができるでしょう。しかし、どうすれば希望にあふれる毎日を過ごすことができるのか、それが問題です。誰も日々の生活の中で「こんなことが実現できたらいいな」「こんな願いが叶ったらいいな」などと、簡単な夢や希望、あるいは願いをもつことがたくさんあると思います。それは、思い悩んで落ち込んでいる時でも、「この悩みが解決したらどんなに心が晴れ晴れとするだろう」と、やはり願いをもつことがあると思います。しかし、そんな夢や希望や願いをもっただけではなかなか「希望に満ちた、はつらつとした毎日」にはなりません。では、「希望に満ちた、はつらつとした毎日」に変わるためには何が必要なのでしょうか。それは願いを実現するための手立てや方策、道筋が明確であることだと思います。「こうすればうまくいくかもしれない」「良い方法を思いついた」「解決の糸口が見つかった」このように見通しがもてると人は希望を胸に燃やすことができるのだと思います。



子供たちの将来は可能性に満ち溢れています。しかし夢や希望が単なる願いになってしまうのか、それとももう少しで手の届く希望となるのか。それを実現するためには具体的な手立てや方策を立て、見通しを明らかにすることが大切なのだと思います。

新しい生活を迎えるにあたり、今年度を振り返り、課題を明らかにし、自分なりの目標をもつとともに、それを実現するための手立てや見通しをもってほしいと思います。

保護者や地域の皆様には、この1年間、本校の教育を温かく見守っていただきまして、まことにありがとうございました。来年度も引き続きご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

球技大会

各学年で3月に入ってから球技大会を実施しました。3月4日(月)に1年生は男女ともドッチボール、3月5日(火)に2年生は男子がサッカーで女子がドッチボール、3月7日(木)に3年生は男女ともドッチボールの種目で、それぞれ球技大会を行いました。今年1年間共に学んだ級友との最後の行事なので元気いっぱい応援をしていました。

《教材費の返金について》

今年度より教材費の返金は口座振替を利用して行います。詳しくは学年での決算報告をご覧ください。また、3年生のご家庭で口座を解約される場合は5月以降にお願いをいたします。

《卒業式のお願い》

3月20日(水)に卒業式を挙行いたします。ご参加される方々は、自動車でのご来校はご遠慮ください。くれぐれも近隣の施設や商店に置くことのないようよろしくお願いいたします。

《標準服リサイクルのお願い》

「父母と教師の会」において「標準服のリサイクル」活動を行っています。標準服やセーター、ベスト、体育館履き、ジャージの回収をしています。特に標準服(ブレザー、スカート、ズボン)の回収数が少なくリサイクルを行えない状況にあります。不要になった標準服等がございましたら2階事務室前のリサイクル回収ボックスへご提供くださいますようお願いいたします。